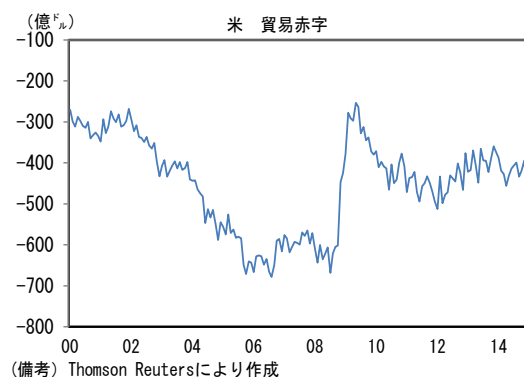
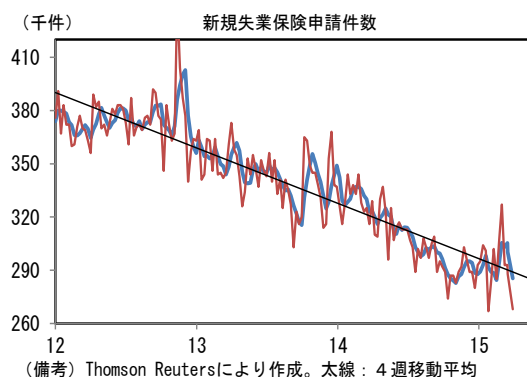


【海外経済指標他】～イニシャルクレーム：ポジティブサプライズ～

- ・新規失業保険申請件数は26.8万件と前週（28.8万件）から一段と減少して15年ぶり低水準に比肩。労働省は今回発表分に特殊要因は含まれていなかったとしている。ポジティブサプライズだ。4週移動平均は28.6万件となり5週ぶりに30万件割れを回復、再びトレンドラインを下回った。失業保険申請件数は2月に増加傾向を辿り、労働市場の回復に疑問を投げかけていたが、それが寒波による一時的現象であった可能性がますます高まった。目下の失業保険申請件数の水準および減少ペースは雇用統計NFPの25万人増ペースを整合する非常に心強いデータだ。30万件割れを維持している間は労働市場に対する楽観的な見方を固持するべきだろう。
- ・2月米貿易赤字は354億USDと前月（427億USD）から縮小、市場予想（412億USD）よりも小幅な赤字に留まった。実質ベースでは輸出が▲2.3%と弱かったが、輸入が▲3.8%とそれ以上に弱かった。西海岸の港湾ストによって統計が歪められているため、景気循環を読むうえではあまり重要視すべきではないが、GDP純輸出の上振れリスクであることは確か。

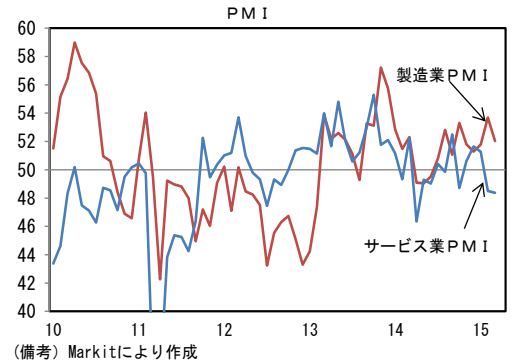


【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

- ・前日の米国株は反発。前日までの下落により値ごろ感が台頭。他方、欧州株は区々。なお、本日の欧米株式市場はグッドフライデーのため大半の国が休場。米債市場は短縮取引となる。経済指標（雇用統計）の公表は通常どおり。
- ・前日のG10通貨はUSDの弱さが目立った一方、EURの強さが目立った。1日発表のADPがBLS雇用統計の下振れリスクを喚起。USDが全般的に軟調だった。EUR/USDは1%超上昇して一時1.09を付け、USD/JPYは120割れでの推移となった。
- ・米10年金利は+5.4bpの1.912%。米指標改善と株式市場の反発を受け米債は売り優勢。一方、欧州債市場は過去数日のラリーの反動もあり、多くの国で小幅な金利上昇。ただし、それでも独10年は0.2%割れ維持。

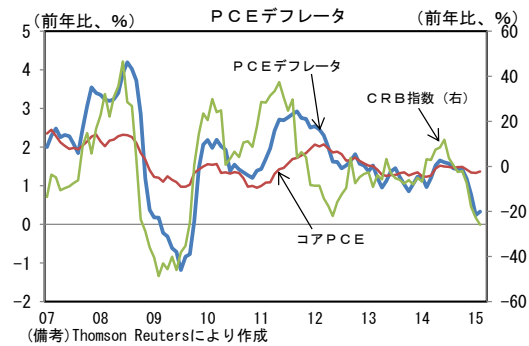
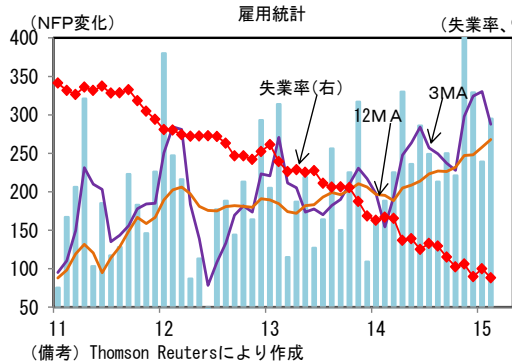
【国内株式市場・経済指標他】～国内経済に陰りの兆候～

- ・日本株は米株高を受け小高く寄り付いた後、もみ合い。
- ・日本の3月サービス業PMIは48.4と2ヶ月連続で50を下回った。新規事業(50.2→50.0)がやや鈍化したほか、雇用(49.0→49.1)が低水準横ばい、受注残(50.0→49.0)は減少。他方、12月先の事業見通しは54.5と高水準を保っており、先行きに楽観的な見方は維持されている。中国の春節の影響から振れが増幅されている可能性があり評価が難しいが、国内経済のモメンタムにはやや陰りがみられる。総合PMIは49.4と5ヶ月ぶりに50を下回った。



【注目点】～振り返りも～

・今晚の雇用統計、NFP(市場予想24.5万人)も重要だが、注目すべきは失業率(5.5%)と平均時給(前月比+0.2%、前年比+2.0%)だろう。失業率と平均時給が予想以上に改善すれば、6月利上げ説が俄かに現実味を帯び、今後得られるデータ次第ではコンセンサスに振り返り可能性すらある。フォワードガイダンスで“忍耐強く待つ条項”が外れているため、市場の見方も統計に応じてボラタイルになることを再認識する必要があるだろう。FEDが重視するコアPCEデフレ率は2%を下回っているとはいえ、その底堅さは米国がデフレの脅威と程遠い状況にあることを裏付けており、最近の労働需給の逼迫と併せて考えると、寧ろインフレの芽を意識させる。また、インフレ率が2%に満たなくとも、その軌道が崩れていなければ、利上げが正当化されるとの趣旨の発言を、FED高官がしていることを思い出す必要がある。云わば“賃金待ち”の状態でその賃金に加速の兆候が認められるとなれば、ほんの数週間でコンセンサスががらりと変わる可能性があることは念頭に置いておきたい。



<主要株価指数>

	終値	前日比
日経平均※	19340.08	27.29
N Y ダウ	17,763.24	65.06
D A X (独)	11,967.39	-33.99
FTSE100 (英)	6,833.46	23.96
CAC40 (仏)	5,074.14	11.92

<外国為替>※

USD/JPY	119.72	0.00
EUR/USD	1.0867	-0.00

<長期金利>※

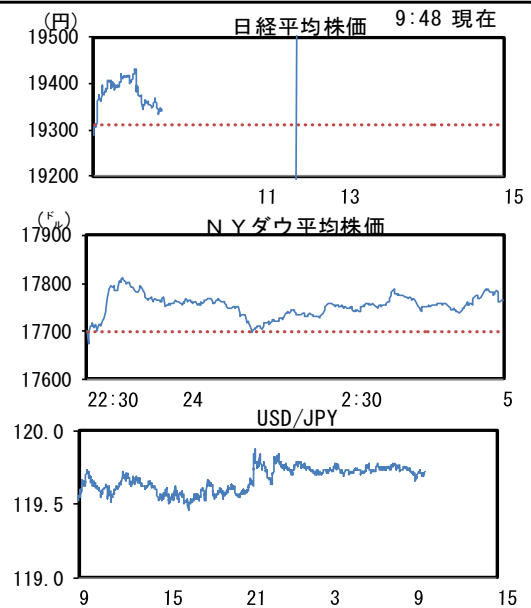
日本	0.348 %	0.007 %
米国	1.912 %	0.054 %
英国	1.592 %	0.051 %
ドイツ	0.194 %	0.027 %
フランス	0.485 %	0.033 %
イタリア	1.301 %	0.022 %
スペイン	1.221 %	0.014 %

<商品>

N Y 原油	49.14 ドル	-0.95 ドル
N Y 金	1200.90 ドル	-7.20 ドル

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。

(出所) Bloomberg



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。